

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援・放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスnoone			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日 ～ 2025年 2月 10日			
○保護者評価有効回答数(放課後等デイサービス)	(対象者数)	24	(回答者数)	24
○保護者評価有効回答数(児童発達支援)	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日 ～ 2025年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所のスペースの広さ。 ・プログラム毎に部屋を分けている。 (スペースの確保)	・活動内容やお子様の特性に応じて活動場所を変えている。 ・事業所のスペースを活かして、どのような活動が出来るか検討している。	・安全面に考慮しガラスや壁の強化など、設備を整えていく。
2	・保護者様からの相談にすぐに対応している。 (相談援助)	・帰りの送迎時にその日の支援内容によって、送迎職員、伝え方等を日々協議している。 ・保護者様から相談の連絡があった場合は、送迎の際や事業所に直接足を運んでもらうなどして話をする場を設けている。	・家族支援やペアレントトレーニングなどの専門的な学びの機会を増やす。
3	・職員間で話し合う場（職員会議・ケース会議・朝礼・終礼）を設けられている。 (情報共有)	・職員会議、ケース会議で支援内容について共有を図る。 ・朝礼、終礼でその日の支援について共有を図る。	・現状を継続して行っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・マニュアルやプログラムについての保護者周知。	・事業所としては契約時や送迎時やLINE等で案内は出しているが認識されていない現状がある。	・周知の方法や内容について改善していく。
2	・地域の他の児童と活動する機会を設けてはいるが、保護者様に知られていない。	・地域の大学のイベント等に参加しており、活動の機会はあるが内容について活動に参加した利用児童以外の保護者様へお知らせする機会がなかった。	・SNS等を活用してご利用児童以外の保護者様へも知ってもらえるよう工夫していく。
3	・保護者様向けの研修や保護者間の交流する機会が少ない。 ・保護者会は実施しているが、保護者様に興味を持っていたいただけるような内容で実施ができていない。。	・LINEや送迎時の口頭連絡、お知らせの手紙などで案内を出してはいるが、保護者様に目を通してもらえているかわからない。 ・事業所の特色から運動のプログラムが多く、保護者様が足を運びにくい可能性がある。	・保護者様が参加しやすい内容を考える。 ・保護者様に興味、関心を持っていただけるような内容を検討していく。